

# 街歩きBOOK 田原

街あるつく田原 | 平成28年10月1日(土) | 第35号



## 中心市街地活性化事業がはじまります！

わたしたちの住んでいる地域、田原市の中心市街地は商店の撤退や移転などによる減少により、人口が年々減少傾向にあります。そういった流れを変えるべく、中心市街地活性化計画が決まり、いよいよ事業を遂行させていただきます。

田原駅前通り線及びびはなとき通りを「南北中心線(シンボルロード)」、田原中央線を「東西中心線」として中心市街地の骨格軸とし、セントファールを「商業施設核」、田原駅、工場跡地を「エントランス核」として位置づけ、まちづくりをすすめます。



現在までに様々な事業「産業人材育成事業」「幸せの四つ葉プロジェクト事業」「出店促進事業」「チャレンジ支援事業」「まちなか賑わいイベント事業」などを実施し、中心市街地活性化に取り組んできました。

そんな中でも今回は最も「賑わい」を創生することが期待されている「まちなか賑わいイベント事業」の中心メンバーのご紹介をします。本年度もすでに計画が進行し、今後も実施されていく予定のイベント事業の仕掛け人のお三方に話をお伺いしてきました。

### 田原市中心市街地活性化計画とは

平成28年3月15日付で内閣総理大臣の認定を受けた「田原市中心市街地活性化計画」は、中心市街地の活性化に関する法律に基づき、本市の豊かな自然や城下町として歴史、国内有数の農業の生産地としての特徴を活かしながら中心市街地を活性化するため、田原市と市民の意見を反映できるよう「田原市中心市街地活性化協議会」でも検討、策定し実行する計画です。

市街地活性化には田原市の中心市街地が抱える「課題」をひとつひとつクリアしていく必要があります。主な課題は「都市基盤施設の整備及び有効活用」「商業機能の向上・集積」「まちなか居住の促進」「回遊性の向上」「地域資源のまちづくりへの活用」(空き家・空き地の適切な管理と有効活用)です。

### 田原市中心市街地の将来像

中心市街地の核となる商業施設の整備、まちなかへの回遊促進に取り組むことで、賑わいの創生を。また、市最大の魅力「花・緑」、地域固有の「文化・歴史」などの地域資源を活かし、特色ある多くの人々が回遊する中心市街地へと活性化を進めていきます。実施する事業は「市街地整備改善」「都市福利施設」「居住供給、居住環境向上」「経済活力向上」「公共交通、その他」と多岐にわたります。以前から実施を続けている継続事業、新規事業合わせて全39実施事業が実施されます。

本誌はこの事業をサポート、また中心市街地の今、計画の進行状況をお伝えすることでより身近に感じて頂けたらと思っています。何より、本計画の実施には「市民のみなさまの参加」が不可欠です。あつまるタウン田原では各事業のみなさまの参加を広く募集しています。各事業必要に応じ参加メンバーを随時募集します。



●イルミネーション事業



●サンタが街にやってくる事業



●菜の花イベント事業



●桜まつり事業



●三七の市



●街路フラッグ



●花ロード街路再生事業



●フラワーポット事業



●七夕イベント事業



●まちなか市民音楽祭

# まちなか賑わい事業ってご存知ですか？

わたしたちの住んでいる田原市の中心市街地では、日々様々な人たちがミーティングや実行委員会などを通じて、多くの人々の意見を聞きながら田原市を盛り上げるべく活動しています。

今回はそんな事業の中の「いのぼりイベント」「イルミネーション事業」「まちなか市民音楽祭」など多くの人々を招き、まちなかに賑わいを！と尽力する賑わいの仕掛人「まちなか賑わいづくり実行委員会」の3人にお話を聞きました。

田原市中心市街地への思いや田原市全体からみた中心市街地が持つ役割などを「長所」「短所」「次へのステップ」の課題」などをお聞きすることで、前向きな未来創生のヒントになるのではないかと思います。

## 今の世代、その次の世代に引き継ぐために

まちなか賑わい事業は、菜の花や四つ葉のクローバーなど地域資源と、七夕やクリスマスなど四季の行事を組み合わせ、通年通して楽しめるものになっています。私自身は、自分たちが楽しんで行い、参加する方も楽しんでほしい、記憶に残るものを作りたいと心掛けています。この姿をきっかけに、商業者をはじめ、学生も事業



●縦山 丈二さん(富貴屋)

田原町築出のはなとき通りに和洋菓子の富貴屋を構える。主な担当はイルミネーション事業・キャンドルナイト事業、サンタが街にやってくる事業など。



●西野 優子(ケアプランにしの キッチンくろーばー)

ケアプランナーでもあり、田原市東赤石で、「きっちんクローバー」の経営に参加。幸せの四つ葉プロジェクト事業を中心に携わっている。

## 委員長としての特別な思いと期待

まちなか賑わいづくり実行委員会の委員長を務め、4年。市街地の再開発や、郊外にショッピングセンターができたことにより、ここ数年で商店も少なくなり、人の流れも少なくなりました。昔は旅館、たばこ屋、醤油屋など生活に密着したお店も多く、今はなき上町商店街などを懐かしく思います。今一度、まちなかに賑わいを戻

## 支援と市街地活性化を融合し、賑わいへ

幸せの四つ葉プロジェクトは、新たな観光資源の創出や、障がいのある方への支援など同じ市街地の活性化を目的としています。4月28日を四つ葉の日とし、イベントを開催。四つ葉のクローバー発祥の地である伊良湖岬と、オリジナル商品やサービスを用意したまちなかの商業店を結び、半島自体に回遊性を持たせています。

## イルミネーション点灯式&キャンドルナイト

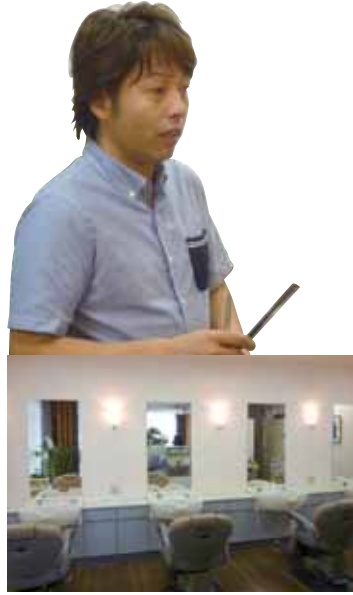


●柴田 光晴さん(柴田屋酒店)

田原町柳町で酒屋を営む。まちなか賑わいづくり実行委員会委員長を務め、事業全体の統括を行っている。

# 笑顔の絶えない「タカクラブ」! イベントなどで地域を活性化!

たかく ともただ  
タカクラブ 高久 倫忠さん



■ **タカクラブの歴史**  
田原市はなとき通り商店街で理容業を営んでいる高久倫忠さんをご紹介します。高久さんは田原町萱町で昭和47年に生まれ、高校卒業後、現在の豊川市にある職業訓練学校の理容科に進まれました。1年間勉強した後、豊橋市の理容店で4年程修行の後、家業に入られました。タカクラブが田原の町で創業したのは、戦後の

昭和24年頃だそうですが、倫忠さんの祖父が戦前、今の北朝鮮で開業したのがそもそもの始まりで、終戦後祖母の実家が田原の吉胡だった為、田原で引き続き理容業を営んだということだそうです。お父様の継承後、倫忠さんが3代目となった訳です。

■ **コミュニケーションが大事**  
技術を知ってもらうためにも、お客様とつまくコミュニケーションを取ることが大事だと思っっているそうです。学生さんには、就職や進学への相談にのったり、中高年のお客様には、新しく開店したお店や旅行に行った感想、美味しいお酒や料理、今までに頭に詰め込んだ雑学や、今、流行っているトレンド情報等を提供しているそうです。目指すのは

## ■ タカクラブの歴史

## ■ コミュニケーションが大事



住 田原市田原町築出 56-10  
電 0531-22-1411  
営 8:30 ~ 19:30  
休 毎週火曜日 第2、3月曜日  
P 5台



「アットホームな雰囲気創りとりラックスできる場の提供です。」と力強く話されました。

## ■ 髪の毛のアドバイス

髪の毛のアドバイスも積極的にしているそうです。いつも「一緒に髪型で」とオーダーされるお客様が多いそうですが、個人個人で髪の毛の生え方、毛質は違います。家に帰ってもなるべく上手くセットやスタイリングが出来る様なカットを心がけているそうです。簡単にセット出来る方法、意外と難しく思われがちな、ワックスやムースの塗布、ワックスなら10秒で付けられる方法や、今、お使いのワックスにある物をちよつとプラスするだけで、シルバーアッシュ色(黒い髪限定ですが)になってしまいう方法も教えてくれるそうです。

## ■ 女性もシェービングにどうぞ

男性のお客様だけでなく、多くの女性の方もシェービング(顔そり)にご来店頂いているそうです。シェービング後には、「お肌がモチモチになった。ゆで卵の白身みたいにツルツルになった。」等のお声

をたくさん頂くそうです。産毛が無くなると、化粧のノリもすごく良くなるそうですので、是非一度体験してみても如何ですか。

## ■ 最後に

地域では、はなとき通り商店街メンバーとして夜店開催やイベントを通して、地域の皆さんに喜んでもらえるように活動しています。

家族4名で営業されているタカクラブ、笑顔の絶えない楽しいお店を提供できる様、日々頑張っておりますので是非ご来店頂きます様、お願いいたします。

### 田原市中心市街地の活性化に参加しませんか

#### 参加ボランティア募集

現在、「まちなか賑わいづくり実行委員会」では「賑わいイベント」のボランティアを大募集。ミーティングからの参加やイベント当日だけの参加でもOKです。

- 資格 / 田原市内中心市街地にお住まいの方
- 年齢 / 不問
- 参加内容 / 賑わいイベントのお手伝いスタッフ
- お問合せ先 / 株式会社あつまるタウン田原

TEL.0531-24-2345